

あおぞら

行方市 社協だより

No.58 2020.9.1

— 発行者 —
 社会福祉法人
 行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478番地1
 ☎ 0299 (36) 2020
 FAX 0299 (55) 4545
 URL <http://www.yokattanet.jp>



コロナ感染拡大の影響により休止して
 いました“元気で～さ～びす館”“給食サー
 ビス”は7月より再開いたしました。皆
 様が安心して参加できるよう「新しい生
 活様式」に沿った内容で、感染防止に最
 大限取り組みながら実施していきます。
 参加の際には、皆様にも感染防止のご協
 力をいただきますので何卒ご理解とご協
 力をお願いいたします。

また、感染状況が悪化した場合など状
 況により変更の可能性があります。その
 際は、改めてお知らせいたします。

も く じ

- 令和元年度 事業報告及び
 決算報告 2～5
- 社協の事業案内 7
- いきいき長寿者紹介 6
- 令和2年度共同募金運動 8
- 善意銀行・法律相談日程・編集後記

令和元年度 事業報告

安心して暮らすことのできる 福祉のまちづくりを目指して

【会員数】

- ・一般会員 8,024世帯
- ・賛助会員 26世帯
- ・特別会員 141事業所

【善意銀行運営事業】

・市民の皆様のご温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

(一般寄付金36件、物品等寄付10件)



水戸ヤクルト販売(株)より寄贈の救護セット

【地域福祉事業】

○地域福祉事業

〈給食サービス事業〉

在宅の高齢者等で食事作りが

困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。

麻生地区 延べ2,078食
協力 麻生地区
給食ボランティア

北浦地区 延べ1,467食
協力 ボランティアグループ
さわやか

北浦地区食生活改善推進員

玉造地区 延べ2,526食
協力 玉造地区
給食ボランティア

〈介護予防事業〉

・サロン活動支援

高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるような健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。

(2ヶ所 計96回 延べ588人参加)
元気で〜さ〜びす館

高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。

(5ヶ所 計116回 延べ1,657人参加)

○生活支援体制整備事業

〈コミュニケーション活動の支援〉

・生活支援体制整備事業

地域住民が主体となって住民同士がお互いに助け合う体制づくりを推進します。
(第一層、第二層協議体の開催)

○障害児(者)福祉事業

〈ビックリ・発見・夏キャンプ〉

協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。
(参加者 98人 協力 アール医療福祉専門学校)

〈のびのびサポート事業〉

長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的とし

て実施しました。
(10回 延べ94人参加)

〈親子ふれあい事業〉

障害児(者)とその家族を対象に同じ悩みをもつ家族同士の交流や情報交換の場を提供しコミュニケーションづくりを推進しました。

(3回 延べ54名参加)

〈こころのサロン〉

こころの病を抱える方等を対象に外出の機会を持ち、引きこもり防止の目的で交流会を開催しました。
(1回5人参加)

〈障害者スポーツ大会事業〉

障害者スポーツの振興を図るとともに、市民の心身障害児に対する理解と認識を深めることを目的に実施しました。

いきいき茨城ゆめ大会リハール大会
(参加者14名)

行方市障害者スポーツ講習会
(参加者105名)

・なめがたふれあいまつりフライングディスク体験
(参加者267名)

・鹿行地区障害者スポーツ大会
(参加者16名)

○母子・父子福祉事業
・新入学祝品贈呈(24件)

○子育て支援事業
〈子育てサポート事業〉

子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。

(保育サービス提供時間2時間)

〈養育支援訪問事業〉

支援が必要であると認められた家庭に対し育児支援ヘルパーや保育サポーターを派遣しました。

(派遣時間18時間)

○ボランティア活動の推進
〈ボランティアセンター事業〉

ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。

〈福祉教育の推進〉

高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での

各種福祉体験学習を実施しました。

(計7回実施)

○備品貸出事業

地域コミュニティ活動の推進を図るため用具等の貸出を行いました。(41件)

○共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・イベント募金・職域募金を実施しました。

赤い羽根自動販売機4台設置

(募金総額4,357,317円)

○歳末たすけあい運動

市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。

(除草等24件 障子張り84件 網戸張替35件 窓掃除34件 廃棄処分32件)

【相談支援事業】

○法律相談事業

弁護士による無料法律相談を実施しました。
(毎月1回 相談件数59件)

○日常生活自立支援事業

自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。

(相談件数3件 利用者数8名)

【資金貸付事業】

○生活福祉資金貸付事業

(茨城県社会福祉協議会より事務委託)

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えることも

に、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。

(相談件数11件)

【在宅生活支援事業】

○福祉機器貸出事業

疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。

(78件)

○福祉車両貸出事業

障害者や高齢者及びその家族の方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。

(225件)

○訪問歯科治療機器貸出事業

歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。

(4件)

○在宅福祉サービスセンター

事業

高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。

(利用件数 延べ1,804件)

利用時間 延べ3, 293時間)

○在宅言語等リハビリアドバイザー事業

言葉に障害のある方や嚥下困難な方に言語聴覚士が在宅でのリハビリを通してコミュニケーション機能の獲得や向上のため相談・助言を行いました。(12回 延べ80人)

【広報啓発事業】

○社協だより「あおぞら」の発行

(6,9,12,3月)

○ホームページ・SNSの管理運営

○なめがたエリアテレビ 生放送情報番組「生で情報発信！なめがた」

日替わりコーナー出演

【介護保険事業】

○居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)によるケアプランの作成、利用者のサービ

ス提供相談、訪問相談、介護保険認定調査を実施しました。

(プラン作成数 要介護延べ1,760件 介護予防延べ1,600件 第1号介護予防延べ96件 介護保険認定調査 70件)

医療機関及び福祉施設等へ退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。(66件)

○訪問介護事業

指定訪問介護事業所の運営を行い、要介護の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。

(利用者数 延べ13,000人 派遣時間 延べ12,684時間42分)



○第一号訪問事業

事業対象者、要支援の方にホームヘルパーの派遣、サービ

ス内容の相談を実施しました。(利用者延べ1,284人 派遣時間延べ1,277時間51分)

○地域包括支援センター事業(麻生)

心身の健康の保持及び生活の安定の為に必要な援助を行いました。

(相談件数 206件 プラン作成数 介護予防58件 第一号介護予防70件 介護保険認定調査3件)

【障害者福祉サービス事業】

○居宅介護

指定訪問介護事業所(総合支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護・家事援助サービスを実施しました。

(利用者数延べ5,482人 派遣時間5,333時間34分)

○同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)移動の援護等の外出支援を

行いました。(利用者数延べ21人 派遣時間延べ35時間56分)

○障害者相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の運営を行い、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成、関係機関との連絡調整、障害支援区分認定調査を実施しました。

(利用者数 障害者84人 児童23人 障害支援区分認定調査42件)

【地域生活支援事業】

○障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。

(利用者数 延べ20人 派遣時間 延べ96時間55分)

○障害者地域活動支援センター

ドリームハウス

障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。

いきいき長寿者紹介

埼玉 93歳(行方市行戸)



地元行戸の生まれで、今の地に嫁がれたキ又江さんは終戦直後に結婚をされ、二男二女四人の子に恵まれました。

戦争を知らない、映像でしか見たことのない私たち世代にとっては、想像もつきません。

農業で生計を立て、すべてが手作業の時代今では考えられないほど大変でしたと話してくれました。

現在は、息子夫婦とキ又江さんの三人家族、敷地内に孫夫婦、ひ孫三人も住んでいます。ひ孫がいつも「気を付けて」

戦争当時を振り

かえってみると悲しくもなるが、よく頑張ったと自分をほめたい。当時のことは、絶対忘れられないよ・・・ちよっと目を潤ませていました。



と、声をかけてくれるのがとても嬉しい。嬉しい反面切ないことも、家族に迷惑をかけてはいけない。出来ることは自分でやらなければと思うそうです。

心掛けてるんよ

毎日必ず歩くこと。雨が降らない限りは30分程度歩いていきます。健康の基本だと思っている。継続は力なりと続けているそうです。

自分から、何かをやるうという気がおきないと人はダメになつてしまふ。

足腰が痛くてつらい時期もあり、今すごく実感しているそうです。

小物作りが大好き

若いときからたくさんいろんなものを作り、友達にあげたりしたそうです。夫婦フクロウ、猫、巾着袋と、100均で材料を買ってきて作るのよ・・・顔の表情はとてもむずかしい「猫が大好きなの」

「作るのも楽しみ、あげるのも楽しみ」と、笑顔で話してくれました。



最後にこれからの目標を聞いてみると、家族に負担をかけずに自分なりに生活をしていきたいと答えてくれました。

最後までこちらの質問に笑顔で丁寧に答えてくださったキ又江さん、これからもお体に気を付けてお過ごしください。

紙面でご紹介させていただける長寿の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。 ☎0299(36)2020 総務企画係

社協事業案内⑤ ～備品貸出事業～

★こんなサービスあったんだ!★



地域コミュニティ活動の推進を図るため、行方市社会福祉協議会が所有または管理する用具等の貸出を行っています。

【貸出対象】

行方市内の行政区、教育機関
コミュニティ推進団体、ボランティア団体など

【貸出期間】

7日以内

【使用料】

無料

☆福祉体験用具

車いす、インスタントシニア、アイマスク
白杖、点字版、スロープ



アイマスク、白杖

☆イベント用具

テーブル、イス、マイク一式、
かき氷機、わたあめ機



わたあめ機



かき氷機

☆レクリエーション用具

輪投げ、カラム、ディスコン、スカイクロス、ニチレク、バグジー、ラダーゲッター、
フライングディスク、ボッチャ、スポーツ吹矢、グラウンドゴルフ、ペタンク、
シャフルボード、オーバルボウル



ボッチャ



フライングディスク

この紙面についてのお問い合わせ 0299-36-2020 地域福祉係まで

行方市善意銀行

令和2年5月1日から令和2年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
白田 忠夫	20,000	無指定
小堤 道明	30,000	無指定
小沼 良和	10,000	無指定
塚原 貞男	20,000	無指定
小堤 功三	30,000	無指定
羽生 敏紀	20,000	無指定
行方市地域女性団体連絡会	21,000	新型コロナウイルスの影響を受けた方
匿名	100,000	経済的に恵まれない子どもたち

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
羽生 好之	革製品・アクセサリー他	無指定
米澤 精一	晒木綿 一反	無指定
匿名	タオル等	無指定
匿名	タオル約30枚	無指定

法律無料相談会

●下半期日程のお知らせ

10月5日(月)	11月9日(月)
12月7日(月)	1月25日(月)
2月8日(月)	3月8日(月)

☆予約等お問い合わせについて

事前に下記までお電話ください

0299(36)2020 行方市社会福祉協議会



新型コロナウイルス感染症が流行し、感染拡大防止対応により事業やイベントが軒並み中止か実施しても規模縮小実施、秋の気配を感じるこの時期になってもこの状況は変わらない。楽しみが何もないこと、ちょっと寂しいですよネ！

自粛モードいつまで続くのかな？

理崎道子

編集後記



令和2年度 共同募金運動

◇ 赤い羽根共同募金運動 ◇

(10月1日～12月31日)

令和2年10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。



今年度は、予期せぬコロナの影響で全国的に生活課題が長期化、かつ深刻化しています。この状況下「助け合い」と「支えあい」の大切さに改めて共感していただくこと目指して運動を展開していきたいと思えます。

各地区における戸別募金を始め、皆様からお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動に役立てさせていただきます。

◇ 歳末たすけあい募金運動 ◇

(12月1日～12月31日)

歳末たすけあい募金運動は、市内に在住する支援を必要としている方々へ新たな年を迎える時期に、家事援助等のサービスを実施しています。



○昨年度歳末たすけあいの様子



草刈り



窓掃除

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲478番地1

行方市地域包括支援センター内

社会福祉法人行方市社会福祉協議会内

TEL: 0299(36)2020

お問い合わせ先

広報委員

委員長	熊谷 一男	代々城千尋
副委員長	理崎 道子	高柳 利子
	金井 裕子	大原 孝
	菅谷 京子	横田 照実
	磯山 正子	稲川 勝

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報 なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。